

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞

第30号

2009年3月10日発行

http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo au/ソフトバンク

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



## 派遣切り反対闘争に確かな手ごたえ！

2 / 2 1 の追浜駅頭の宣伝は、神奈川労連の動員にこたえて16名もの仲間が集まり、用意した300枚のチラシが、あっという間になくなってしまいました。また、11月に日産の派遣切りにあったという青年が声をかけてきました。彼は元請けの寮に入っていたため、その際には住む場所は追い出されませんでした。引き続き派遣労働者で家賃が滞り、「今月中に支払うか、出て行くかのどちらかにしてくれ」と迫られているそうです。病気の妻をかかえ、月末までに9万をどう調達するかと悩んでいました。

続いて2 / 2 5には、7名で横須賀市役所の市民相談室と懇談及び要請を行いました。しかし対応が非常に悪く、一人の主査が、「今日お話を伺いして、1ヶ月後に回答します」と繰り返すばかり。事前に文書を出して、雇用確保、とりわけ日産自動車追浜工場

の問題や、横須賀市立市民病院の指定管理者制度導入問題を提起しておいたのに、です。参加したメンバーから、市の対応を問題視する発言が相次ぎました。

2009春闘は、まだ始まったばかりです。引き続き、**3.13重税反対統一行動**(10時・総合福祉会館)、**3/15(日)Yデッキ宣伝**(2時~3時、含労働相談)の成功に向け、奮闘いたしましょう。

## 原子力空母GWをめぐる情勢

2月20日から「平成21年第1回市議会定例会」が行われ、蒲谷市長の「施政方針」が示されましたが、原子力空母問題・基地問題について一切、発言はありませんでした。議会関係者によると「基地問題すら施政方針で一切、触れなかったのは歴代市長で初めてではないか」との事です。元旦に起きた原子力空母ジョージ・ワシントン乗組員による市民への暴行事件や釣船衝突事故についても一切、抗議なし、米軍基地や自衛隊基地の存在を「他の都市にはない、観光資源に」といってはばからない姿勢で、ケリー司令官と一緒にネイビーバーガーをほおぼる有様です。

また、「いらない！ 原子力空母」では、4 / 1 2 (日)に、春のパレードを計画しています。1時半にヴェルニー公園集合です。

## 横須賀市長選挙その後

6 / 2 8 投票の市長選には、蒲谷市長に続いて吉田市議が意欲を示し、入ったばかりのニューウイングから脱退しました。

(住民投票を)成功させる会に結集する人々は、3 / 8 に市民シンポジウムを開催し、「市民みんなの力で市政をつくる会」を発足し、事務局長に新倉裕史氏が就任しました。

会は3 / 1 5 (日)6時からヴェルク横須賀で全体会議を開催しますが、この場で候補者が発表されると期待されます。

